

リハビリテーション部からの研究に関するお知らせ

研究のためにカルテの情報を使用させて頂いています

◎外来心臓リハビリテーションを実施したことのある患者さん

1、研究の題名 『外来心臓リハビリテーション患者における退院時のうつ症状と その後の運動習慣獲得との関連』

研究期間： 倫理委員会承認後 ～ 2022年12月31日

2、研究の目的

運動習慣は死亡率、筋力、バランス、歩行速度、認知機能動脈の硬さ、コレステロール、血糖コントロールとの関連が報告されており、心疾患の発症予防や再発予防において重要な血管や冠危険因子との関連が報告されている。

心血管疾患は、うつ病、不安障害などの精神症状を引き起こすことが知られており、評価および治療と予防への心理的介入は、治療へのアドヒアランスを向上させ、死亡率や心血管イベント率の低下が期待できると示されている。

うつ症状は運動習慣と関連があり、運動習慣はうつ症状を改善させることが報告されているが、心臓病で入院後し、退院時のうつ症状がその後の運動習慣獲得に影響するかどうかは報告されていない。

そこで今回、心疾患患者において、退院時に評価したうつ症状が軽度なもののほど外来心リハ移行後の運動習慣が付きやすいという仮説を検証する。

3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間： 2019年1月1日 ～ 2022年12月31日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得します。

年齢、性別、身長、体重、運動習慣の内容、検査データ(心エコー、血液検査)、薬の種類、入院期間、リハ実施日数、認知項目得点、外来心リハドロップアウトの有無、運動習慣がつくまでの日数(種目を問わず外来リハ以外で週2回以上の運動を行い、それが外来終了まで持続した場合、その最初の週の外来心リハ実施日を運動習慣がついた日と定義する)、仕事の有無、PHQ-9(うつ評価尺度)

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院 で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(科名又は部署名)リハビリテーション部

(研究責任者名)井本 俊之

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(連絡先)0948-22-3800(代表)

(担当者名)リハビリテーション部 横手 翼